木造住宅耐震診断結果報告書チェックリスト（「耐震チェックプログラム」用）

市町名		年度		受付番号	
申込者氏名			報告書確認者 事務所名・氏名		
報告書確認者 連絡先	（携帯番号）　－　－		（Fax番号）　－　－		
	E-mail ：				

【チェック表】

項目		確　認　事　項（診断事務所チェック欄） ※確認した項目に□にレでチェックを行い提出すること。	市町 チェック欄
提出書類		□木造住宅耐震診断結果報告書チェックリスト(当該用紙にチェックを入れたもの)	適・否
		□木造住宅耐震診断結果報告書（1部）	
木造住宅耐震診断結果報告書	様式1 （木造住宅耐震診断結果報告書）	□市町受付番号年月日は記入しているか。	適・否
		□診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの出力時間が表示され、時間が一致しているか。	
		□登録番号 □技術者氏名、押印	
	様式2 （耐震診断総合評価）	□（a）について様式5と同一の内容か、（b）について様式12と同一の内容か	適・否
		□注意事項に記載はあるか	
	様式3 （建物概要調査表A）	□建物所在地は補助市町と同一か	適・否
		□竣工年は昭和56年以前か　□階数は平面図とあっているか	
		□併用住宅の場合、住宅以外の用途の床面積が過半でないか。	
		□各チェック項目のいずれかにチェックは入っているか	
		□二重にチェックしている項目はないか（□以外）	
	様式4 （建物概要調査表B）	□各チェック項目のいずれかにチェックは入っているか	適・否
		□二重にチェックしている項目はないか	
	様式5 （聞き取り調査ﾁｪｯｸﾘｽﾄ） （地盤・地形状況の特定）	□各チェック項目のいずれかにチェックは入っているか	適・否
		□二重にチェックしている項目はないか	
	様式6 （伝統構法ﾁｪｯｸﾘｽﾄ） （老朽度のﾁｪｯｸﾘｽﾄ）	□伝統構法チェックリストにチェックが入っていないか(入っている場合は一般（方法2）又は精密)	適・否
		□老朽度チェックリストの存在部位、劣化現象欄と様式11の劣化係数が同じ欄にチェックされているか	
	様式7(各階平面図)	□平面図の階数は様式2～3、様式9～12と整合しているか	適・否
	様式8 （建物概要）	□整理番号は、様式1の内容と整合しているか	適・否
		□様式3の内容と整合しているか	
		□建物仕様は、「軽い建物」「重い建物」「非常に重い建物」のいずれかで記載されているか	
		□地域係数Zは0．9となっているか	
		□軟弱地盤割増は、「1.0」又は「1.5」となっているか	
		□積雪深さ及び積雪は「0.0m、積雪割増　0×Z」又は「一般地域」となっているか （※愛媛県下に「多雪区域」の指定なし）	
		□基礎形式・床仕様にⅠ～Ⅲの記載があるか	
	様式9、10 （壁仕様一覧）(床面積)（耐力要素）	□階数、方向別すべての算定表がついているか	適・否
	様式11 （劣化度による低減係数）	□劣化度による低減係数については、様式6の記載と同様にチェックが入っているか	適・否
	様式12(上部構造評点計算表)	□様式10、11に記載の内容と整合しているか	適・否
	様式13（写真）	□写真は全景2枚以上、小屋裏・床下の写真2枚以上が添付されているか	適・否
		□写真の外観と平面図の形、窓位置は一致しているか。	
		□写真がない場合は、調査できない理由書が添付されているか。	
	様式14(注意事項)	□注意事項が添付されているか	適・否
	その他 （上部構造評点の算定）	□精算法により算定されているか。（総2階の場合を除く）	適・否
		□耐力要素の配置等による低減係数は偏心率計算により算定されているか。	

※様式番号は、愛媛県木造住宅耐震診断マニュアルに規定する様式を示す。なお、下段（ ）は耐震診断プログラム『耐震チェック（一般診断の場合）』で出力した場合の該当ページの名称を参考に示す。

市町受付欄	

木造住宅耐震診断結果報告書チェックリスト（「耐震チェックプログラム」以外用）

市町名			年度		受付番号	
申込者氏名				報告書確認者 事務所名・氏名		
報告書確認者 連絡先	（携帯番号）　－　－			（Fax番号）　－　－		
	E-mail ：					

【チェック表】

項目			確　認　事　項（診断事務所チェック欄） ※確認した項目に□にレでチェックを行い提出すること。	市町 チェック欄
提出書類			□木造住宅耐震診断結果報告書チェックリスト （当該用紙にチェックを入れたもの）	適・否
			□木造住宅耐震診断結果報告書（1部）	
木造住宅耐震診断結果報告書	【①】木造住宅耐震診断結果報告書（様式１）		□市町受付番号年月日は記入しているか。	適・否
			□建防協の認定を受けたプログラムで実施しているか。 また、診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの出力時間が表示され、時間が一致しているか。	
			□登録番号 □技術者氏名、押印	
	【②】建物概要調査票A（様式3-2）		□建物所在地は補助市町と同一か。	適・否
			□竣工年は昭和56年以前か。	
			□階数は平面図とあっているか。	
			□併用住宅の場合、住宅以外の用途の床面積が過半でないか。	
			□各チェック項目のいずれかにチェックは入っているか	
			□二重にチェックしている項目はないか（構造以外）	
		上部構造評点の算定	□精算法により算定されているか。（総2階の場合を除く。）また、伝統構法の場合、一般診断法（方法2）又は精密診断で実施しているか。	適・否
			□「地盤・地形・基礎」について診断されているか。また、調査結果に応じて注意事項に記載はあるか。非常に悪い地盤の場合、必要耐力を1.5倍しているか。	
			□耐力要素の配置等による低減係数は偏心率計算により算定されているか。	
			□建物仕様は、「軽い建物」「重い建物」「非常に重い建物」のいずれかで記載されているか。	
			□地域係数Zは0．9となっているか。	
			□積雪深さ及び積雪は「0.0m、積雪割増　0×Z」又は「一般地域」となっているか。 （※愛媛県下に「多雪区域」の指定なし）	
			□基礎形式・床仕様にⅠ～Ⅲの記載があるか	
			□劣化度による低減係数について記載はあるか。 （劣化低減係数は0.7以上となっているか。）	
	【④】写真（様式13）		□写真は全景2枚以上、小屋裏・床下の写真2枚以上が添付されているか	適・否
			□写真の外観と平面図の形、窓位置は一致しているか。	
			□写真がない場合は、調査できない理由書が添付されているか。	
	【⑤】注意事項（プログラム出力様式又は様式14）		□耐震チェック用「様式14」と同程度の内容の注意事項が記載されているか。	適・否

※様式番号は、愛媛県木造住宅耐震診断マニュアルに規定する様式を示す。

市町受付欄	